2026年度 第2四半期
決算説明会

FY2026 2nd Quater
Financial Result Presentation

2026年11月12日

武蔵精密工業株式会社

MUSASHI

CONTENT

01 Financial Results & Full-Year Forecast

02 Mobility Business Update

03 Energy Solution Business Update

Financial Results & Full-Year Forecast

01

第2四半期累計 決算概要

FY2026 First-Half Results

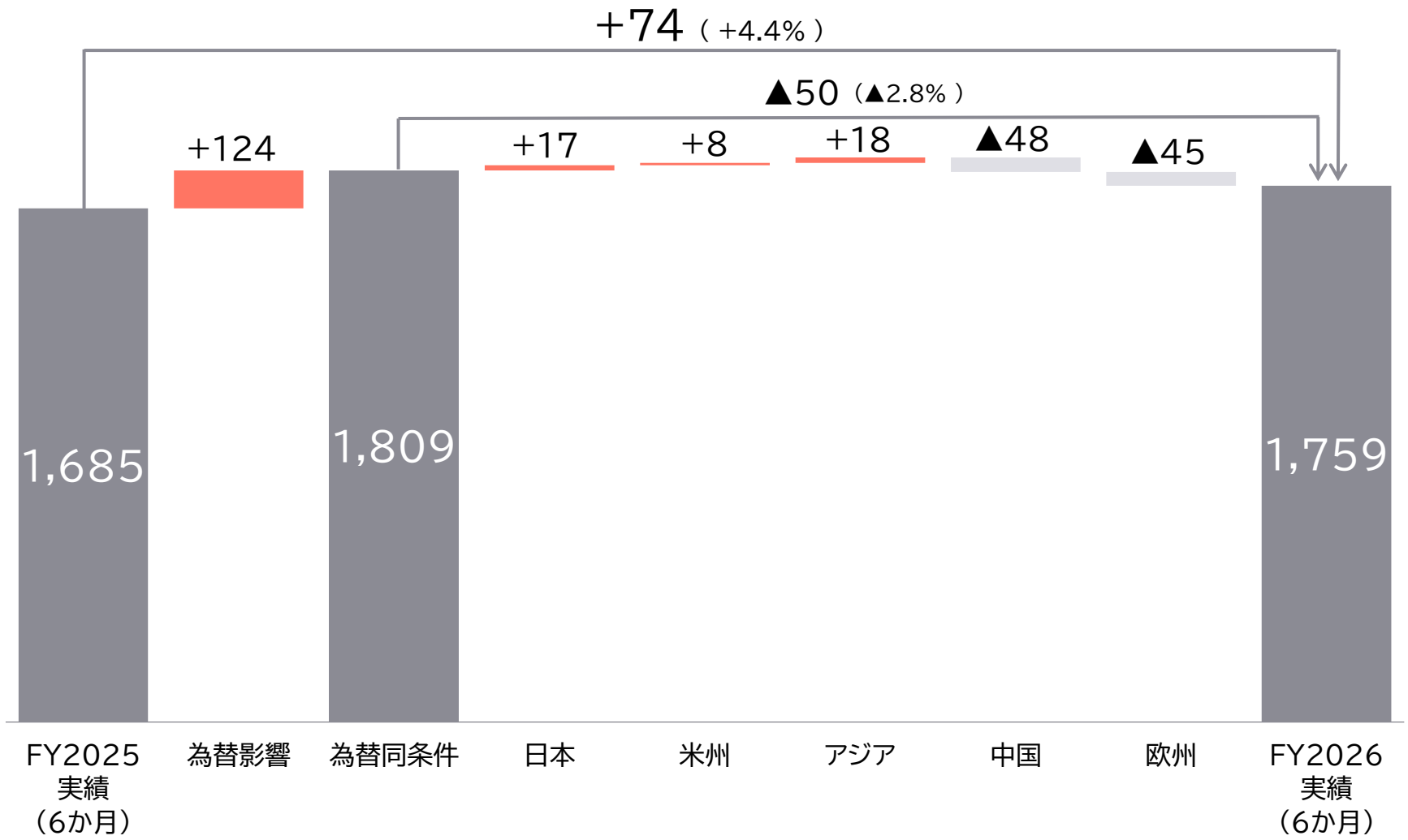
2026年度 第2四半期累計 損益計算書

（単位：億円）

第2四半期累計 実績	2025年度	2026年度	前期比	
			額	率
売上高	1,685	1,759	+74	+4.4%
営業利益 （営業利益率）	84 （5.0%）	87 （5.0%）	+3	+3.4%
経常利益 （経常利益率）	79 （4.7%）	85 （4.9%）	+6	+7.8%
当期純利益 （当期純利益率）	43 （2.6%）	47 （2.7%）	+4	+10.7%
EBITDA （EBITDA率）	174 （10.4%）	183 （10.4%）	+9	+5.3%
期中平均為替レート				
USD	146.09	160.05	+13.96	+9.6%
BRL	26.49	31.33	+4.84	+18.3%
EUR	168.69	184.56	+15.87	+9.4%
THB	4.47	4.83	+0.36	+8.1%
IDR	0.0089	0.0090	+0.0001	+1.1%
INR	1.69	1.68	▲0.01	-0.6%
CNY	20.35	23.64	+3.29	+16.2%

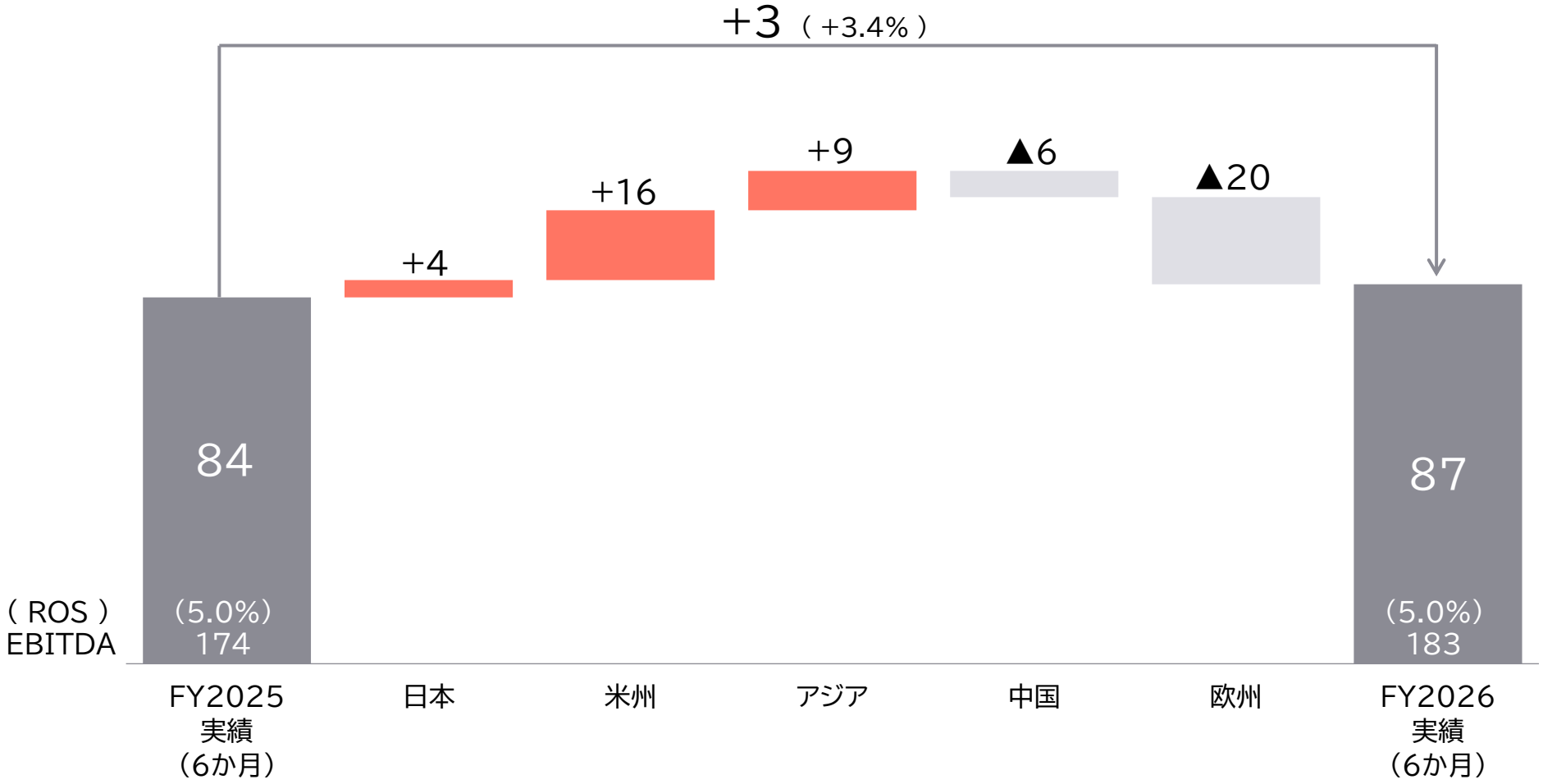
2026年度 第2四半期累計 売上高 ーセグメント別ー

（単位：億円）



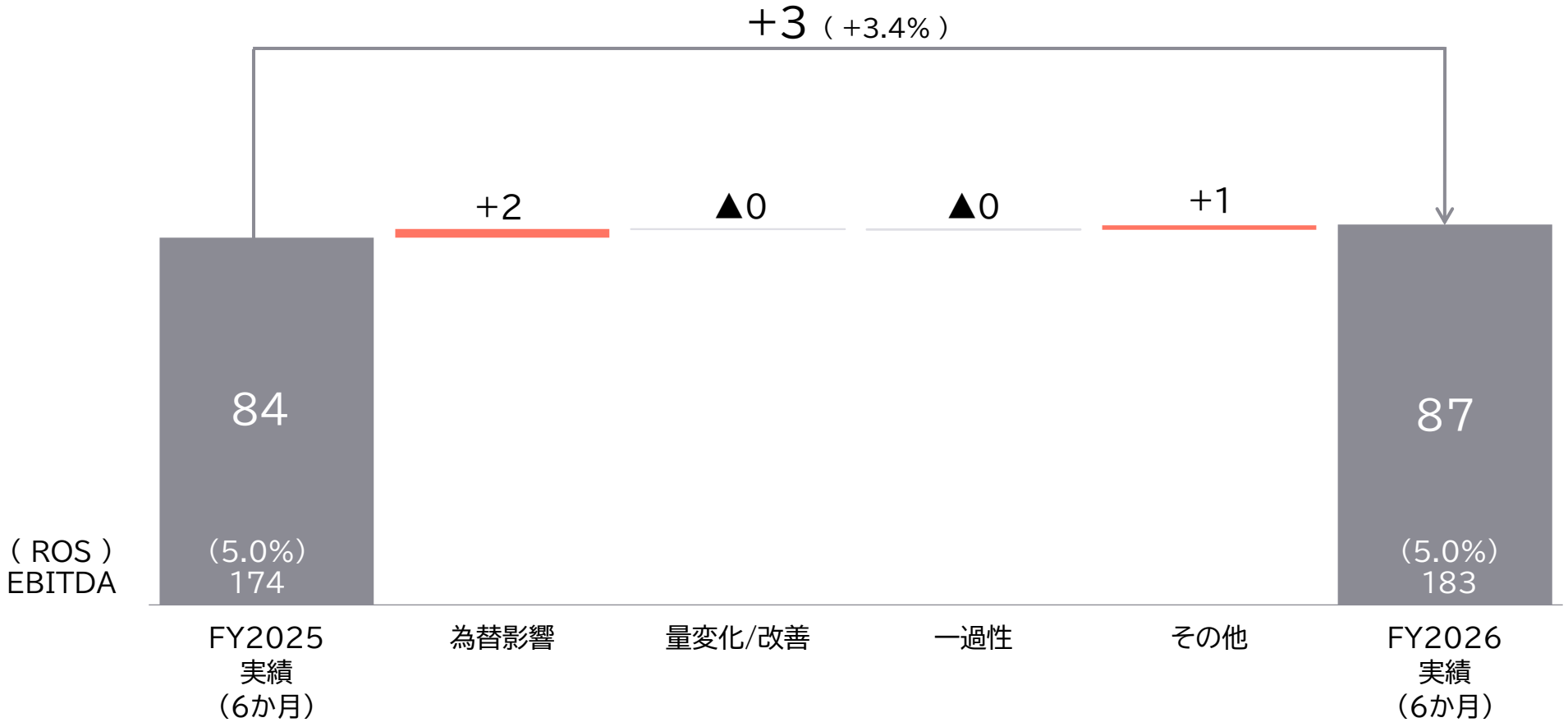
2026年度 第2四半期累計 営業利益 －セグメント別－

（単位：億円）



2026年度 第2四半期累計 営業利益 －要因別－

（単位：億円）



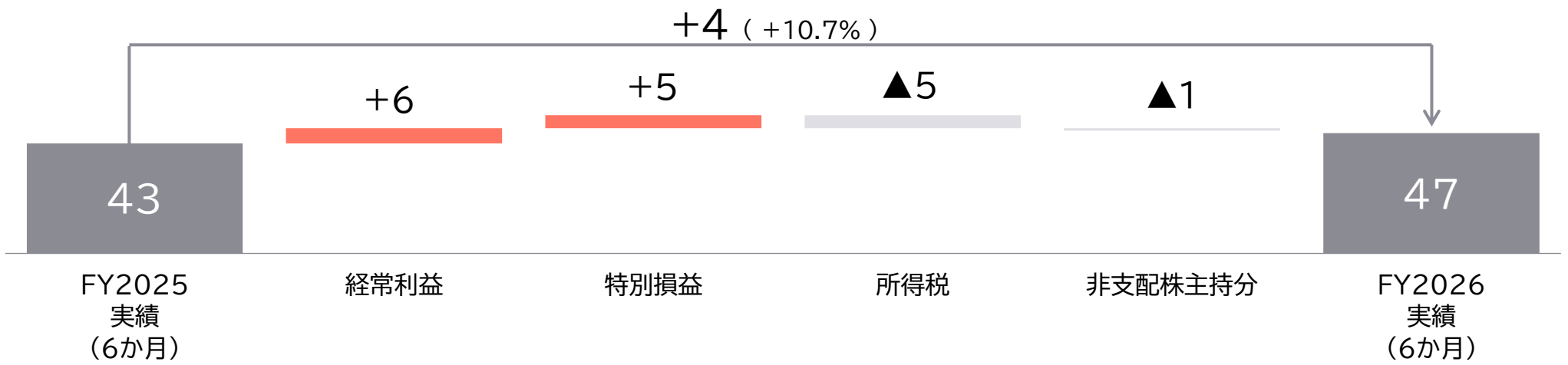
2026年度 第2四半期累計 経常利益・当期純利益 －要因別－

（単位：億円）

経常利益



純利益



2026年度 第2四半期 貸借対照表

（単位：億円）

FY2025 (3/31) 3,016

流動資産 1,500

現金及び現金同等物	338
受取手形及び売掛金	502
棚卸資産	575

固定資産 1,515

有形固定資産	1,289
無形固定資産	29
のれん	5
投資その他の資産	196

流動負債 1,178

短期借入金	619
支払手形及び買掛金	208

固定負債 525

長期借入金	368

純資産 1,312

利益剰余金	911
非支配株主持分	92
為替換算調整勘定	216

借入金合計 987
自己資本(比率) 1,220(40.5%)

+87（為替影響▲53含む）

FY2026 (9/30) 3,103

流動資産 1,480（▲20）

現金及び現金同等物	359(+21)
受取手形及び売掛金	431(▲71)
棚卸資産	564(▲11)

固定資産 1,622(+107)

有形固定資産	1,367(+78)
無形固定資産	24(▲5)
のれん	4(▲1)
投資その他の資産	231(+35)

流動負債 1,197(+19)

短期借入金	637(+18)
支払手形及び買掛金	199(▲9)

固定負債 568(+43)

長期借入金	410(+43)

純資産 1,336(+24)

利益剰余金	949(+38)
（当期純利益	+47）
（配当金	▲9）
非支配株主持分	86(▲6)
為替換算調整勘定	192(▲24)

借入金合計 1,048(+61)
自己資本(比率) 1,250(40.3%)

2026年度 第2四半期累計 キャッシュ・フロー

（単位：億円）

FY2025 第2四半期累計

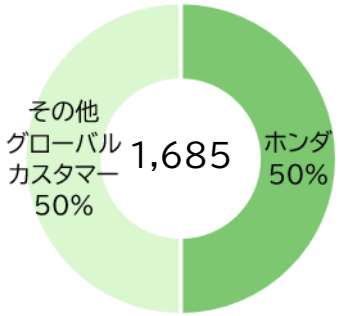
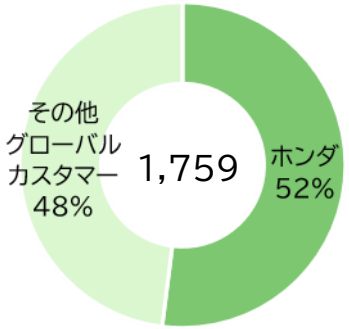
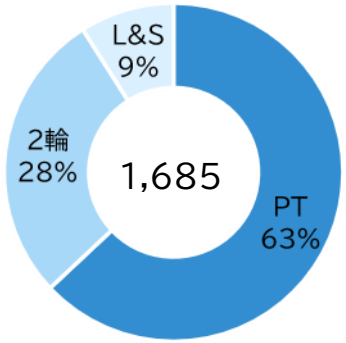
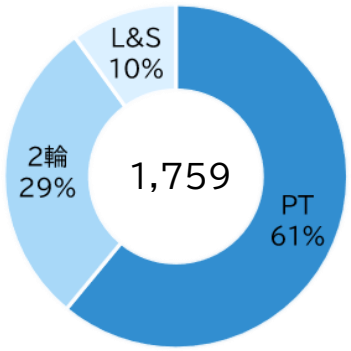
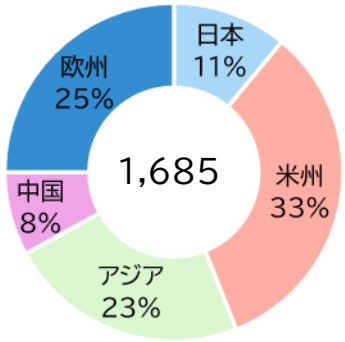
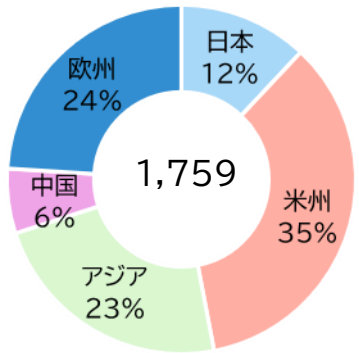


FY2026 第2四半期累計



2026年度 第2四半期累計 売上高 －区分別－

（単位：億円）

	FY2025		FY2026
顧客		+74	
事業			
地域			

顧客別

	FY2025		前期比	FY2026	
ホンダ	851	50%	64	915	52%
グローバル	834	50%	9	843	48%
	1,685	100%	74	1,759	100%

事業別

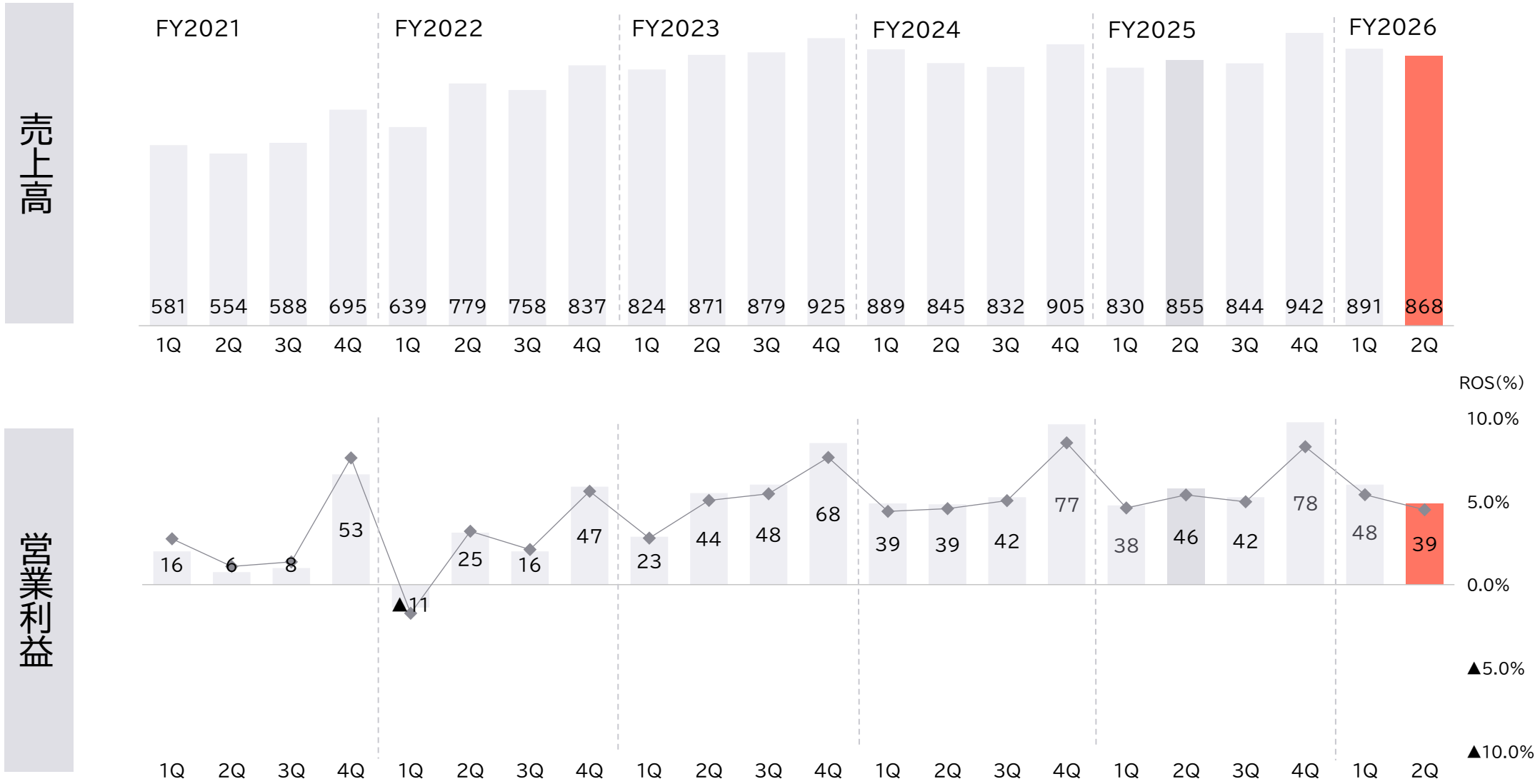
PT	1,067	63%	15	1,082	61%
2輪	462	28%	41	503	29%
L&S	154	9%	20	174	10%
	1,685	100%	74	1,759	100%

地域別

日本	193	11%	17	210	12%
米州	547	33%	69	616	35%
アジア	382	23%	29	411	23%
中国	142	8%	▲ 31	110	6%
欧州	422	25%	▲ 10	412	24%
計	1,685	100%	74	1,759	100%

2026年度 四半期別 業績推移

（単位：億円）



2026年度 第2四半期 経営指標

	FY2021 実績	FY2022 実績	FY2023 実績	FY2024 実績	FY2025 実績	FY2026 2Q実績
ROE 純利益 / 自己資本	5.8%	2.4%	7.3%	6.8%	1.1%	3.9%
ROA 純利益 / 総資産	2.2%	0.9%	2.8%	2.7%	0.4%	1.6%
売上高純利益率	2.2%	0.8%	2.3%	2.2%	0.4%	2.7%
総資産回転率	1.00	1.14	1.25	1.21	1.18	0.58
財務レバレッジ 総資産 / 自己資本	2.62	2.60	2.56	2.50	2.48	2.48
ROIC 税引後営業利益 / 投下資本	2.9%	1.6%	6.7%	6.9%	7.0%	2.6%
ROS 営業利益 / 売上高	3.5%	2.5%	5.3%	5.7%	5.9%	5.0%
EBITDA（億円） 営業利益 + 減価償却費	253	265	382	386	388	183
自己資本比率 自己資本 / 総資産	38.7%	38.2%	39.9%	40.2%	40.5%	40.3%
借入金依存度 有利子負債 / 総資産	37.2%	36.8%	34.2%	33.9%	32.7%	33.8%
CCC（日） 売上債権回転日数+棚卸資産回転日数-仕入債務回転日数	95	88	81	87	89	83
PBR 株価/1株当たり純資産額	0.98	1.19	0.95	1.40	1.41	1.60

通期業績見通し

FY2026 Full Year Forecast

2026年度 通期 見通し

（単位：億円）

	2025年度 実績	2026年度 見通し		前期比 額	前期比 率
売上高	3,472	前回 3,350	3,350	▲122	▲3.5%
営業利益	205	185	185	▲20	▲9.9%
（営業利益率）	(5.9%)	(5.5%)	(5.5%)		
経常利益	202	160	160	▲42	▲20.9%
（経常利益率）	(5.8%)		(4.8%)		
当期純利益	12	65	65	+53	+414.2%
（当期純利益率）	(0.3%)		(1.9%)		
EBITDA	388	370	370	▲18	▲4.9%
（EBITDA率）	(11.2%)		(11.0%)		
期中平均為替レート					
USD	151.10	150.00	150.00	▲1.10	▲0.7%
BRL	27.94	27.00	27.00	▲0.94	▲3.4%
EUR	175.57	175.00	175.00	▲0.57	▲0.3%
THB	4.68	4.65	4.65	▲0.03	▲0.6%
IDR	0.0091	0.0090	0.0090	▲0.0001	▲1.1%
INR	1.71	1.65	1.65	▲0.06	▲3.5%
CNY	21.35	21.00	21.00	▲0.35	▲1.6%

2026年度 通期 投資・減価償却費・配当 見通し

（単位：億円）

	2025年度 実績	2026年度 見通し		前期比
投資	281	前回 350	350	+69
減価償却費	183	185	185	+2
通常	174	176	176	+2
PPA/のれん	9	9	9	-
EBITDA （営業利益+減価償却費）	388	370	370	▲18
営業利益	205	185	185	▲20
減価償却費	183	185	185	+2
1株当たり配当金 （中間/期末）	40円 （25円/15円）	40	40円 （20円/20円）	-

Mobility Business Update

02

今期の主な新規受注：SUBARU

ハイブリッド車向け

武蔵精密工業

- 拡大受注　フロントデファレンシャル部品
- 新規受注　リアデファレンシャル部品

九州武蔵精密

- 拡大受注　トランスミッション部品

ムサシの勝ち技

HEV / BEV向けの高度な要件

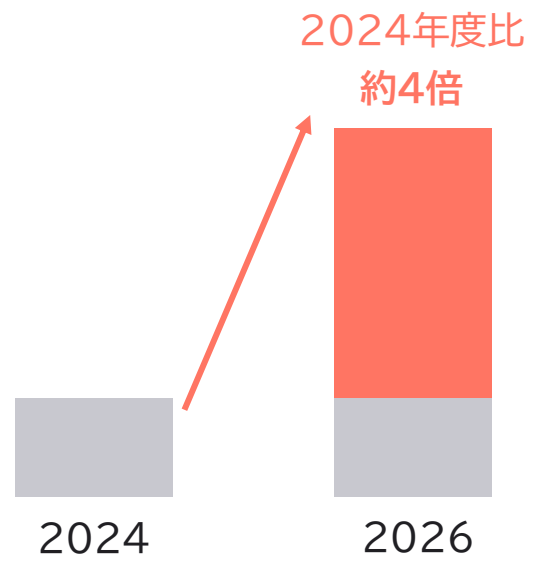
①小型・軽量・高強度

②高付加価値を
生み出す設計力



SUBARU向け売上高

デファレンシャル部品



高まるアウトソーシングニーズを捉え、取引規模がさらに拡大

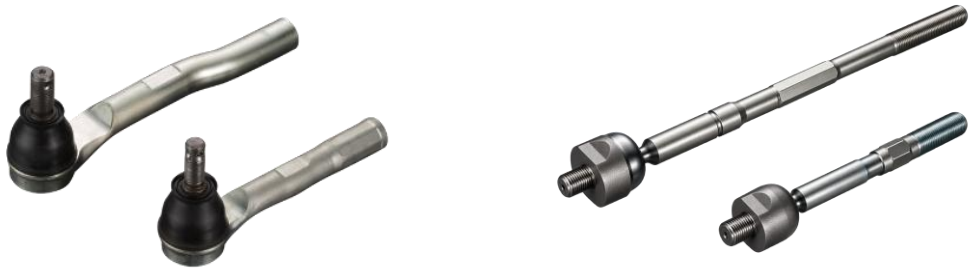
今期の主な新規受注：BYD

EV向け

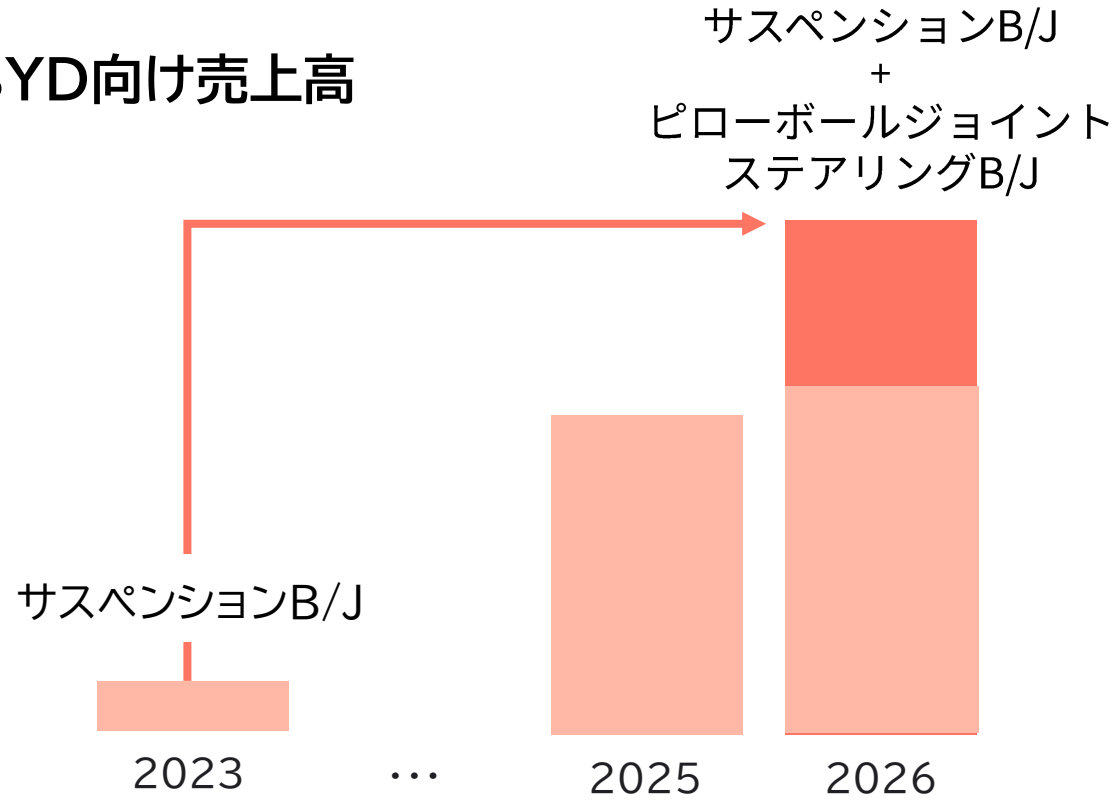
大唐　　（急速充電タイプ　大型SUV）
海獅08（フラッグシップ　大型SUV）

武蔵精密汽車零部件（中山）有限公司

ステアリングギアボックス用タイロッドエンド
ラックエンドボールジョイント



BYD向け売上高



サスペンションからステアリングへ、リンケージ＆サスペンション部品の採用が広がる

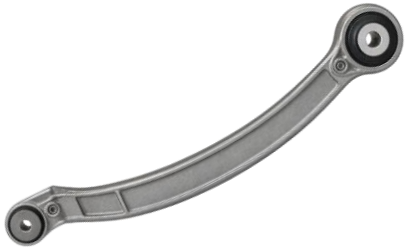
今期の主な新規受注：Mercedes Benz向け

Hirschvogel Mexico 経由 **初受注**

SUVモデル

Musashi Auto Parts Mexico, S.A. de C.V.

リアサスペンション用部品



キャンバーリンク



テンションリンク

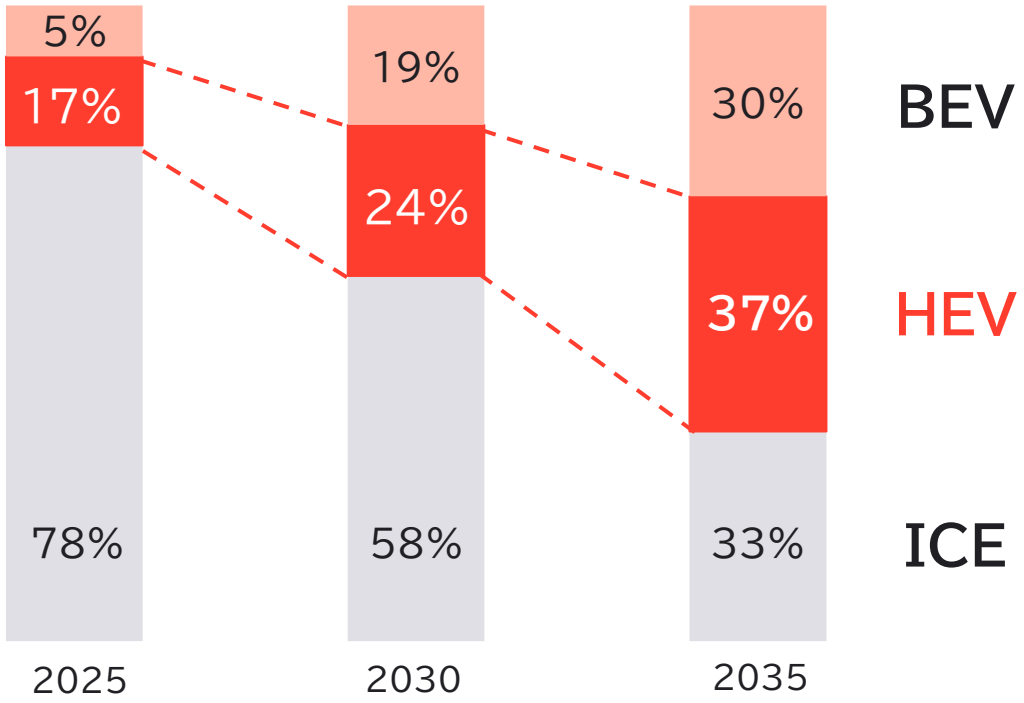
北米域内での現地調達ニーズ	サプライチェーンの再編を背景に域内調達の動きが加速
北米での量産実績	精密加工技術の強みを活かして高品質なものづくりを実現
欧州OEMとの顧客基盤	主要OEMとの取引を通じてグローバルな顧客基盤を構築

グローバルで培った顧客基盤と実績を活かし、北米で新たな需要を獲得

北米：4輪車市場の構造変化

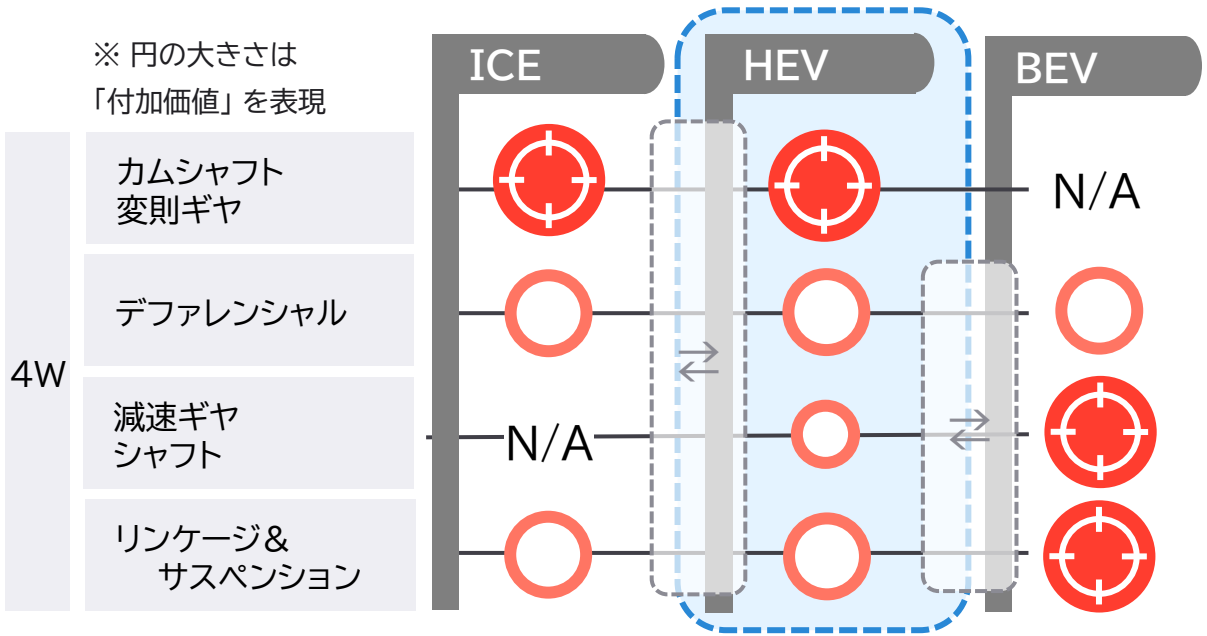
米国市場　パワートレイン構成見通し

Source：PwC Strategy & Analysis



多様な戦略オプション

HEVではICE･BEV双方の製品領域で強みを発揮



米国で急速に進むHEV化が、新たな事業機会に

北米：メキシコ工場の拡張が完了

2026年10月：完成セレモニー　（ 生産面積+8,000㎡ ）



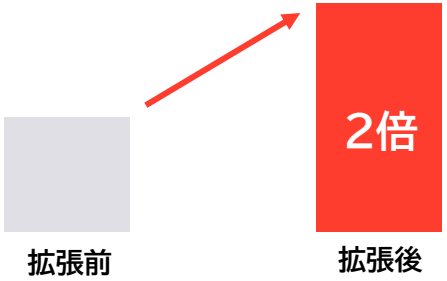
生産可能な品目が増加

鍛造 → 機械加工 → **熱処理** → 仕上げ → 組み立て

工程内製化

生産能力が拡大

HEV向けパワートレイン部品



コスト競争力を強化

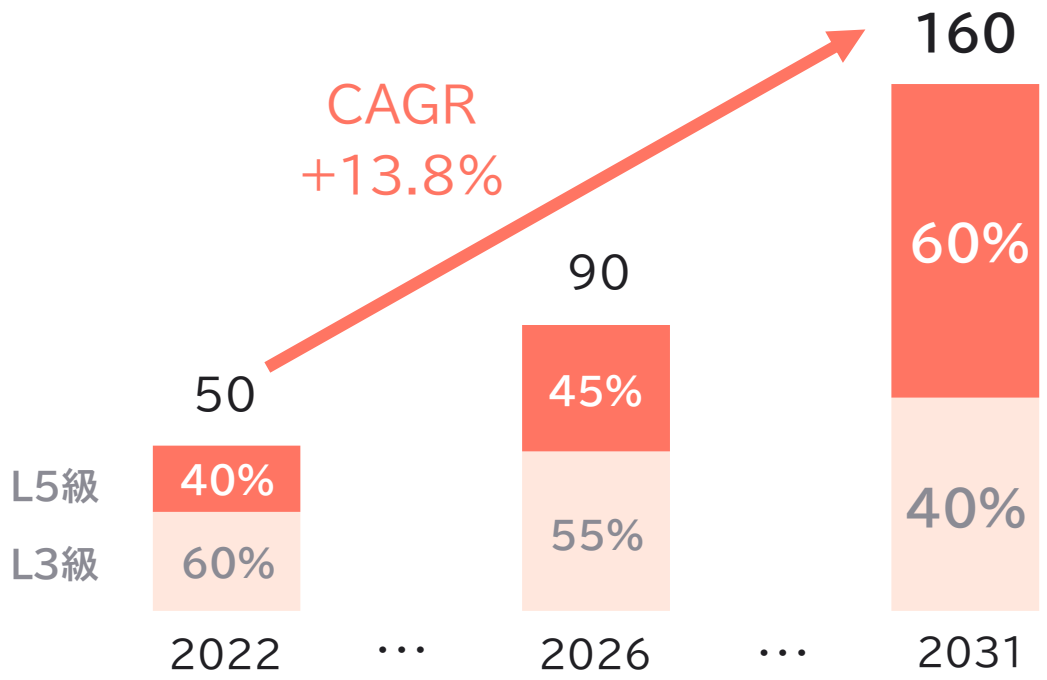
グローバルの
強みと経験を活かした
最先端設備

北米での受注機会を取り込む生産体制を整備

インド：3輪EV市場の動向

インド市場　3輪EV販売台数見通し　単位：万台

Source：市場予測を基に当社作成



3輪EV カテゴリー別比較

L3		L5
低速が中心 （～25km/h が中心）	速度	より高速な走行に対応 （25km/h～）
低出力・シンプル （～2.5kw）	車両特性	高出力・高性能 （5.0kw～12.0kw）
小規模メーカーが 多数存在	市場動向	**大手OEM参入で 市場が拡大**
価格重視	競争軸	**性能・品質も重要**

3輪EV市場の成長とともに、高性能なL5カテゴリーへのシフトが加速

インド：3輪EVが選ばれる背景



インド都市部における3輪EVの利用イメージ

①BtoBの利用が中心

旅客輸送

都市内での短距離移動

都市内物流

商品の配送・宅配

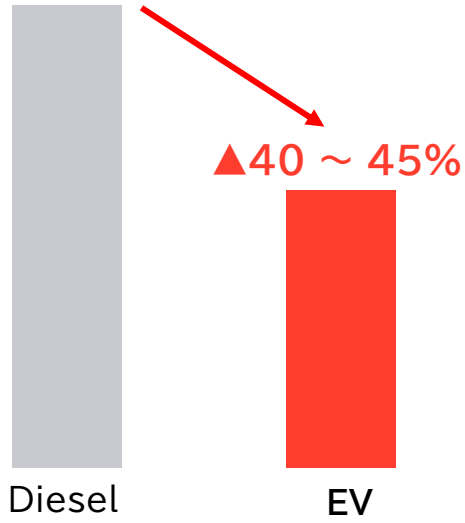
業務用途

廃棄物収集・移動販売 etc.

②コスト削減効果

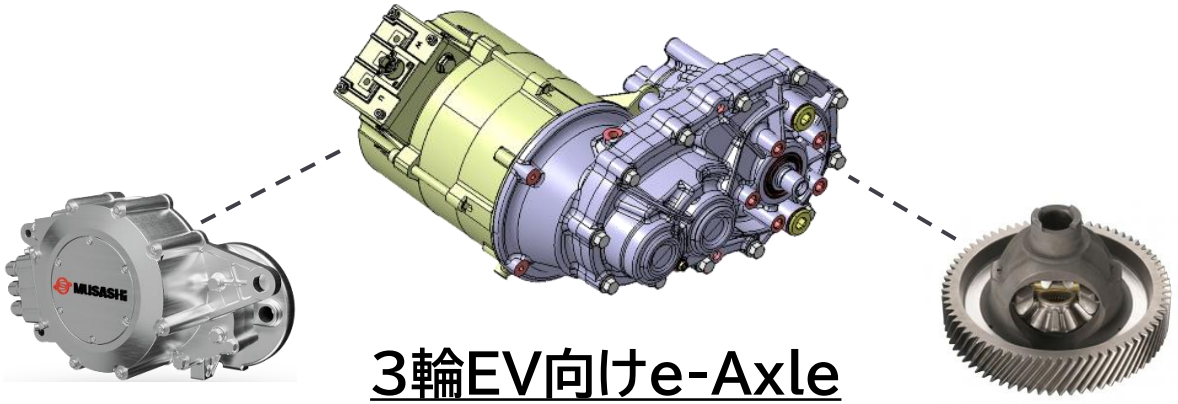
Source：ICRA, “Indian Electric Three-Wheeler Industry,” March 2025

総保有コストの比較



高稼働な商用利用でのコスト優位性を背景に、3輪EVが着実に普及

インド：3輪EV向けe-Axleの拡販を加速



2輪EV向けe-Axle

3輪EV向けe-Axle

デファレンシャルASSY

主な特長

- **ギヤ・デファレンシャルのコア技術**
- **駆動システムの統合力**
- **高品質 × コスト競争力**

2輪EV向け 主な受注　**Emobi, BNC, Kinetic…**

New! **Bhago Mobility Solution**

3輪EV向けe-Axleの供給へ合意



3輪EV向け 受注活動が進行 **Customer A, B…**

成長するL5カテゴリー向けに、コア技術を活かしたe-Axleを本格展開

Energy Solution Business Update

03

生産能力拡大の進捗

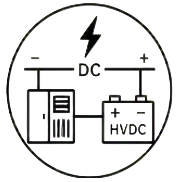






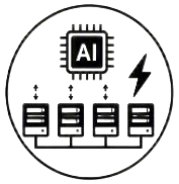
旺盛な需要に応えるため生産体制強化を継続中

AIデータセンター市場の構造変化



AIデータセンターの電力密度が急速に上昇

（Blackwell世代を中心に高密度化が進展。ラック当たり電力は数百kW級へ拡大）



AIデータセンターの急峻な負荷変動が系統課題として顕在化

（2026年7月に米国で大規模AIデータセンター群によるGW級の負荷変動事象が発生）



AIデータセンター向け 系統安定化要件の具体化が加速

（OCP 2026で米国の規制・電力関係機関も議論に参画し、系統安定化に関するルール整備が進展）



電力の「供給」から「系統との協調」へ、市場課題が拡大

HSC活用領域の拡大

目的: Grid Stability: AIデータセンターと電力系統の協調運用

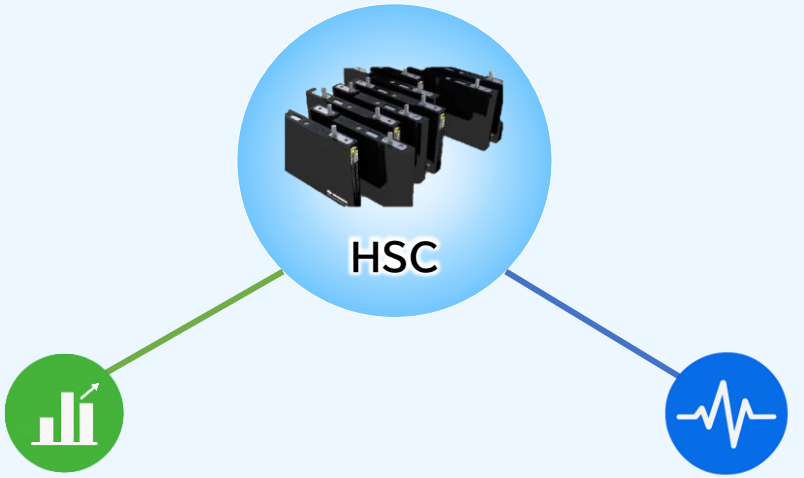
2023年頃



Power Smoothing
電力変動の平準化
急激な負荷変動を吸収し
システム全体の安定運用を支援

適用領域の
拡大・多様化

2026年現在



Ride-through
瞬低・短時間変動対応
瞬低・短時間の電圧変動時に
運転継続を支援

Power Smoothing
電力変動の平準化
Ramp-rate Control含む
継続用途

AIデータセンターの電力課題の多様化に伴い、HSCの適用機会が拡大

AIデータセンターにおけるHSCの価値

系統側 Utility / Grid	AIデータセンター施設側 AI Data Center Facility				IT側 IT Infrastructure	
電力会社の送電網	データセンターの受変電・電力供給設備				パワーラック・サーバーラック	
						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
送電網 （電力会社）	変圧器 （受変電設備）	低圧受電設備 （開閉器・配電盤）	無停電電源設備 （バックアップ電源）	電力分配装置 （ラック配電）	ラック用電源装置 （電力変換）	AIサーバー （GPUラック）

目的: Grid Stability AIデータセンターと電力系統の協調運用

Ride-through 瞬低・短時間変動対応

Power Smoothing 電力変動の平準化
（Ramp-up/Ramp-down制御含む）

用途別に求められるHSCの特長

高出力・高サイクル耐性・高安全性

高速充放電・省スペース化

HSCの特長が活きる領域で、その価値を最大限に発揮

MUSASHI

THANK YOU.